

特集 高速データ通信対応の最新PHSで始める

実践 モバイル コンピューティング!

4月1日、NTTパーソナル、DDIポケット、アステルのPHSキャリア3グループが32Kbpsという高速なデータ通信サービスPIAFSを、DDIポケットがISDN同期32Kbpsが使えるαDATA32を開始した。通信速度が従来の約3倍にも向上したことによって、外出先でのインターネット利用がグンと現実的なものになった。これまで「モバイルコンピューティングは魅力だが実用的ではない」とこの足を踏んでいたユーザーは、これを機にぜひ始めてほしい。そしてモバイルコンピューティングで何ができるのかわからない読者には、具体的な例を挙げてその魅力をお伝えしよう。ノートパソコンと最新PHSがあれば、世界中どこでもオフィスに早がわり。さあパソコンを持って外に出よう!



opening illustration : テリー・ジョンソン



インターネットマガジン編集部 編





株式会社インプレスA & D
樋渡貴春さん
 (38)
 インプレスA & Dの営業部長として、日々その業務のために国内を飛び回る二児のパパ。モバイルを積極的に仕事に活用している社内で評判のできる上司。

ノートパソコンとどこにでも！ これが私の生きる道

株式会社インプレスA & Dの樋渡さんはモバイルコンピューティングを初めてからすでに5年のキャリア。

出張先からでも会社の電子メールサーバーにアクセスし、日々の業務をこなしている。

ひと昔前に比べると今は通信事情もよくなったし、ノートパソコンも軽くなったので、鞆に入れて持ち歩くのは楽になりましたね。以前はA4サイズのノートパソコンを使っていたのですが数日前にA5ファイルサイズの富士通BIBLO5100を購入しました。仕事上お客さまにプレゼンテーションをする機会が多いので、本当は見やすいTFTモニターがよかったのですが、携帯性とバッテリーの寿命を優先して考えた結果、CPUパワーやモニター画面は二の次にしてこの機種を選びました。それでもA5サイズの大きさをペンティアム100MHz、メモリーは将来を見込んで48Mバイトにしたこのマシンの選択は正解でしたね。1.1Kgという軽



ビジネスマンの味方！ プレゼンに強いノートパソコン！

さと、バッテリー寿命が長い分だけ今までよりも多くのお客さんのところでプレゼンができるようになりましたよ。(笑)
 ちょっと前なら考えられないモバイルコンピューティングの環境ですね。

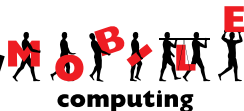
定例会議はナシ メールのやりとりで十分

私たちビジネスマンに会議はつきもの。うちの部署では今まで毎週決まった日に定例会議を開いていたのですが、先月からはメールのやり取りに変更しました。「顔を会わせないとだめだ」などと言う人もいたのですが、大切なのは会議に出ることではなく、意見を述べること。いつでもメールで意見が言えるスタイルをとったので、かえって発言が活発になりましたね。必要なときはメールでスタッフをすぐ招集できるのもメリットですね。

移動中もつながるかな？って 考えたりしてます

私の仕事は出張が多いので、電車に乗っている時間を有効に使うために、報告書や企画書などは車内でもノートパソコンを使ってタイプしてます。これには、意外と慣れが必要なんですよ。小さい画面に集中するので、二日酔いのときはつらいですよ(笑)。あと、大阪出張のときなどは新横浜駅～浜名湖の近辺までは思ったよりもトンネルが多くて携帯電話でインターネットに接続するのがやっかいなんです。新大阪駅～新神戸駅間もダメですね。前に自腹を切って個室で仕事をしたのですが、新幹線の個室って半地下のせいか、電波の通信条件が悪くて、これまたつながらないことがしばしば。おまけに電源もないんですよ。経験から言うと、窓が多くて高い位置にある食堂車はおすすめですね。携帯電話でおしゃべりしていると怒られますが、通信は声を出さなくてすむし、食事しながらモバイルするにはいいですね。あとは、2階建てのグリーン車の一番前の席。このテーブルは大きくてパソコンが置きやすいんです。できれば、新幹線にも100V電源とISDN公衆電話機があれば最高ですね。もっと出張しちやいますよ(笑)。

ひと足お先に
使ってます！
私のモバイル
コンピューティング



移動が多い仕事に
モバイルコンピューティングは必須!

テレビ番組のディレクターという仕事は、取材やロケーションでの移動がとて多いんです。そのせいもあって、モバイルコンピューティングはかなりやっつるほうですね。

そもそも、番組用のタイトルをコンピュータグラフィックで作るためにデスクトップ用のマッキントッシュを購入したのが事のはじまり。偶然仕事仲間もマックユーザーが多かったのも、データ交換やスケジュール管理用にノートブック型のDuoを購入。せっかくモデムが内蔵されているのだから使ってみようと思い、インターネットやデータ通信をやってみたらハマりましたね。

簡単な台本は
ファックスでもOKです

モバイルは結構難しいという話も聞いたのですがやってみると言われるほど難しくなかったですね。モデムを使ってワ



愛車のスバル360は小さく、どこでも駐車ができるので、思い立ったときにモバイルをするには手放せない可愛い車...だそうです。

ロケの移動中に台本をメールで送受信
もうノートブックは手放せませんよ!



ープロの文書をファックスできれば、それだけでも重たいパソコンを持ち歩く価値はあると思います。いわゆるレポートや情報番組とかに関

しては、皆さんが想像する以上にコメント、取材内容や表現の確認、技術的な問題などで局のプロデューサーやスタッフとの確認が必要なんです。今まではそのたびに携帯電話で確認をしていたのですが、地方取材のときや、移動中だとうまくコミュニケーションが取れるとは限りません。そんな時にメールで、内容確認がとれれば言った言わないの問題もないし、そのまま文章を宿泊先のホテルのファックスに送ってしまえば、一応台本としても使えますし、タレントさんやスタッフにも手書きで渡すより失礼にならないので、よく利用しています。

しかし、残念ながらまだまだインターネットを活用している人がスタッフに少ないので、結局は電話やファックスがメインになってしまいますね(笑)。

フリーランス
中身拝見

常に持ち歩くマシンはマッキントッシュのPowerBook Duo250をPowerPCにアップグレードしたものと、ニュートンノートパッド130。PCカードを使って携帯電話などで通信を行う場合にはPowerBook520cに持ち替える。

今年は
海外モバイルに挑戦!

海外取材の番組も結構やっているの、多いときは年に7回ぐらいは出張でアメリカやヨーロッパにいきます。今まではノートパソコンを持っていたのですが、海外からのアクセスの方法とかを知らなかったのが連絡は電話がメインでした。でも、国際電話で高い電話料金を取られることを考えると、海外モバイルにも挑戦してみたいと思っています。

株式会社創都
深谷幸弘さん(35)
テレビディレクターとして現在「道浪漫」(毎日放送、過去には「海」の向こうで暮らしてみれば(毎日放送)、「風に吹かれ」(TBS)など、数多くの番組制作に携わる。



フリーランス
中身拝見

モジュラーケーブルや、ISDN用のPCカードは必需品。鞆は、パソコンを落とさないでチャックが全開しないものを選ぶのがポイント。



photo by ATSUSHI MIYASHITA

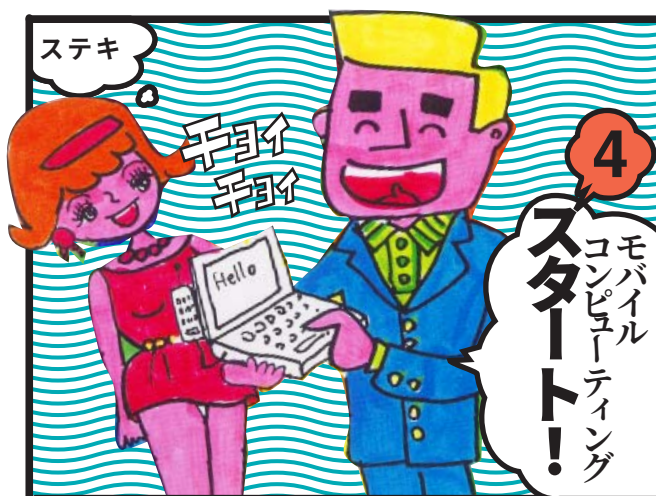
モバイル コンピューティングの始め方

前ページではすでにモバイルコンピューティングを実践している例を見てもらったが、何も初めから彼らのレベルを求める必要はない。とりあえずノートパソコンを外に持ち出して使う。そしていろいろな電話機を使ってインターネット(データ通信)ができれば、

モバイルコンピューティングの有効性が見えてくるはずだ。

このページでは、その準備編として、ノートパソコンでデータ通信、つまりインターネットを利用するための準備と最新PHSの選び方、ホテルやISDN公衆電話を使ったデータ通信の方法をお教えしよう。

『モバイルコンピューティングなんて簡単さ!』の巻



モバイルコンピューティングに最低限必要なものは、ノートパソコンとデータ通信・モデムカード、そしていくつかのソフトウェア、それに最新のPHSがあればベストだ。ノートパソコンは、CD-ROMドライブやフロッピードライブが取り外し式や外付けのもので、2kg以内のものがいい。パソコンの次はソフトウェアのセッティング。といっても、すでにインターネットを利用して

る人にとってはおなじみのことばかりだ。もちろん、これからインターネットを始めようという入門者にとっても難しいものではない。たったこれだけのステップで、アナログモデムカードやISDNカードを使って自宅やオフィス、ホテルやISDN公衆電話からインターネットにアクセスすることができるようになる。

そしてさらに、時と場所を選ばずにインターネ

ット(データ通信)をしたいなら、最新のPHSを手に入れよう(なぜデジタル携帯電話ではなくPHSなのかは、以降のページでその理由を明らかにしていく)。

このように、モバイルコンピューティングなんて簡単に始められるのだ。さあ、あなたも難しく考えずに、さっそくノートパソコンを外へ持ち出そう!

インターネット接続の準備

これからインターネットを利用しようという場合、ハードウェアをそろえるだけでなく、いくつかのソフトウェアの設定を行う必要がある。

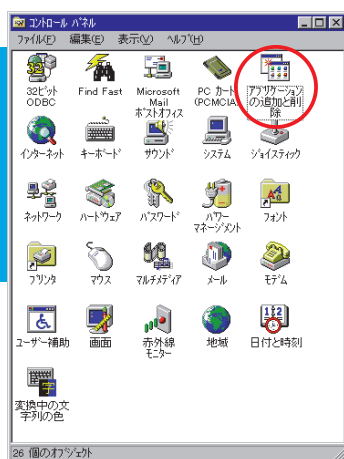
初めてインターネットに接続するという人は、以下のページを読んで設定しよう。

すでに設定を済ませてインターネットを使っているという人は、このページは飛ばして226ページに飛ぼう。

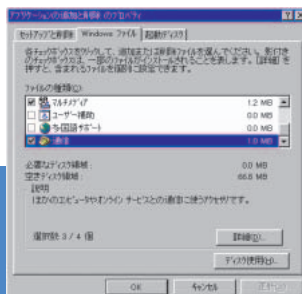
Windows 95

ウィンドウズ95のプリインストールマシンの場合、以下のソフトウェアはインストールされていることが多い。以下のチェック項目がすでにチェックされている場合は、そのまま「OK」をクリックして進んでかまわない。なお、インストールの際にウィンドウズ95のシステムCD-ROM（またはフロッピーディスク）を要求されることがあるので、最初に手元に用意しておく。

●アプリケーションの追加

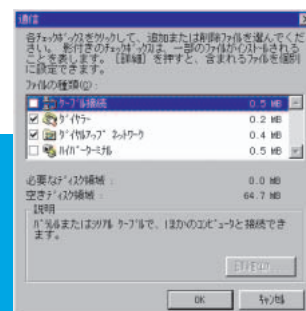


1
コントロールパネルから「アプリケーションの追加と削除」を開く。



「ウィンドウズファイル」をクリックする。「ファイルの種類」の中から「通信」をチェックし、「詳細」をクリックする。

3

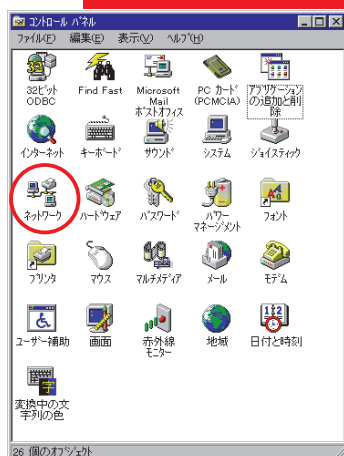


「ファイルの種類」の中から「ダイヤルアップネットワーク」と「ダイャラー」をチェックして「OK」をクリックすればインストール終了。このときに再起動をうながすメッセージが表示されたら「OK」をクリックする。

●TCP/IPのインストール

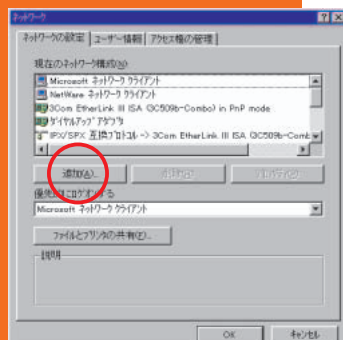
1

コントロールパネルから「ネットワーク」を開く。



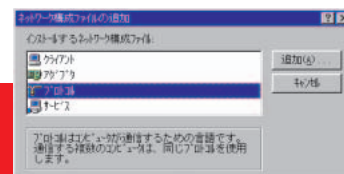
2

「ネットワークの設定」画面が出るので「追加」をクリックする。



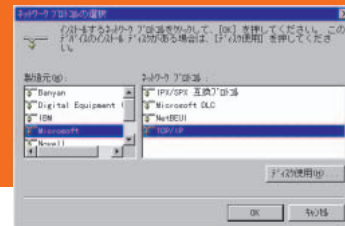
3

「ネットワークの構成ファイルの追加」画面が出たら「プロトコル」を選択して「追加」をクリックする。



4

「製造元」から「Microsoft」を、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選択して「OK」をクリックすればインストールは終了だ。このときに再起動をうながすメッセージが表示されたら「OK」をクリックする。



⑤ 新しい接続先(プロバイダーへの接続)の設定

最初に、データ通信カードかモデムカードをPCカードスロットにセットしてモデムをセットアップしておく。カードやメーカーによってセットアップ方法が異なるので、必ず付属のマニュアルを参照すること。

1

「マイコンピュータ」内の「ダイヤルアップネットワーク」から「新しい接続」を開く。



2

「接続名」を入力してモデムを選択したら「次へ」をクリックする。



3

「市外局番」の0を取って電話番号を入力し、「国番号」を「日本」に設定して「次へ」をクリックする。

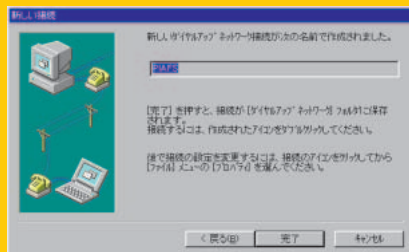


5

「ダイヤルアップネットワーク」の中にある新しく設定した接続のアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択すると「情報」画面が出るので、「サーバーの設定」をクリックする。

4

接続名を確認したら「完了」をクリックする。

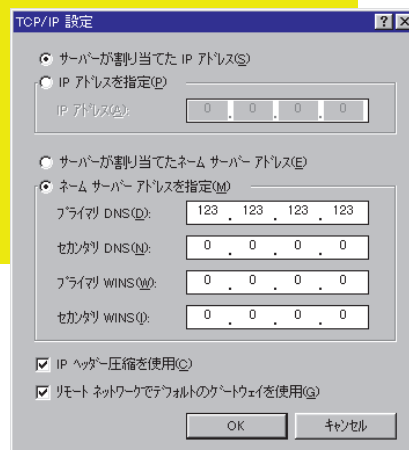
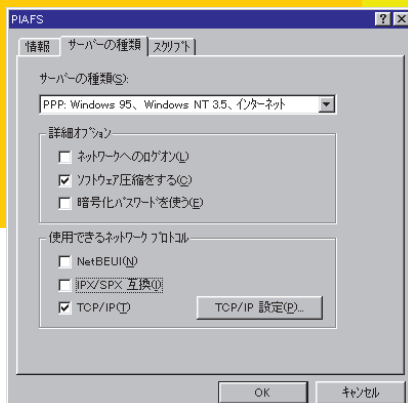


7

「ネームサーバーアドレスを指定」の「プライマリ DNS」の欄にプロバイダーから与えられた数字を入力する。これで設定終了なので、「OK」をクリックして各ウィンドウを閉じていく。

6

「詳細オプション」内の「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけをチェックして「TCP/IP」をクリックする。



◎漢字Talk7.5.3 または 7.5.5 の場合

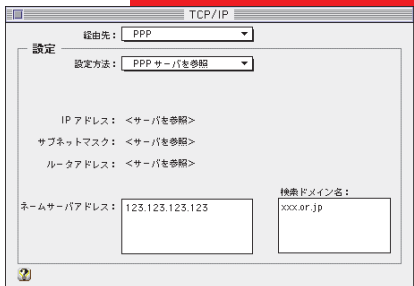
1

コントロールパネルを開いて「FreePPP」がない場合は、付録CD-ROMのMac内のFreePPP→FreePPP2.5v2をダブルクリックしてインストールする。



2

コントロールパネルの「TCP/IP」を開いて「経由先」に「FreePPP」を、「設定方法」に「PPPサーバーを参照」を選択する。「ネームサーバーアドレス」と「検索ドメイン名」にはプロバイダーから与えられたものを入力してウィンドウを閉じる。



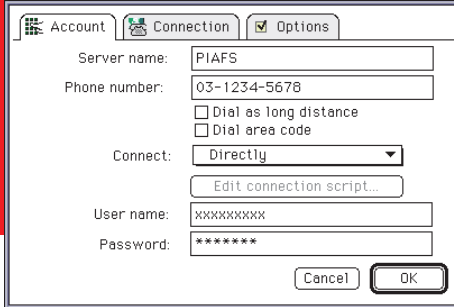
3

モニター右上の電話のアイコンをクリックして「OPEN Free PPP SetUp」を選択する。



4

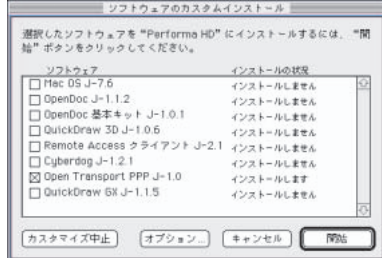
ウィンドウ左下の三角のマークをクリックしたのち「Accounts」を開いて「Server name」にプロバイダー名を、「Phone number」にアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力する。すべて済んだらウィンドウを閉じる。



◎MacOS7.6 の場合

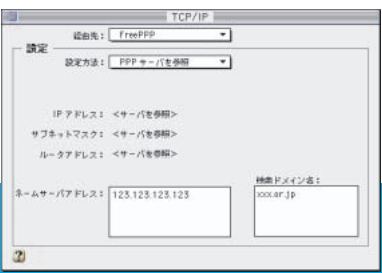
1

コントロールパネルを開いて「PPP」がない場合は、システムCD-ROMでカスタムインストールを選択して「Open Transport PPP J-1.0」のみインストールする。



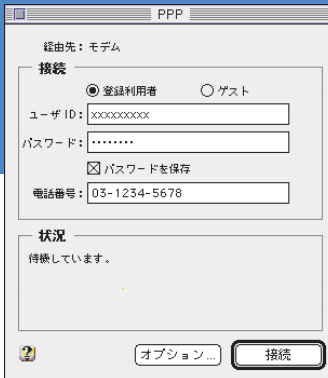
2

コントロールパネルの「TCP/IP」を開いて「経由先」に「FreePPP」を、「設定方法」に「PPPサーバーを参照」を選択する。「ネームサーバーアドレス」と「検索ドメイン名」にはプロバイダーから与えられたものを入力してウィンドウを閉じる。



3

コントロールパネルの「PPP」を開いて「登録利用者」をチェックし、「ユーザーID」と「パスワード」、アクセスポイントの電話番号を市外局番から入力する。すべて済んだらウィンドウを閉じる。



安くて速い PIAFSによるデータ通信

現在、データ通信に使用する携帯型の電話機には大別して携帯電話とPHSの2種類がある。携帯電話使用時の通信速度は9600bps。一方PHSの標準方式では、これまで2400～4800bps、通信状況のよいときで9600bpsだった。そこに登場したのがPIAFS（PHS Internet Access Forum Standard）だ。これはその名の通り、インターネットを考慮した世界標準の高速なデジタルのデータ通信の規格で、デジタル

32Kbps（実効速度29.2Kbps）という通信速度を実現している。さらに、PIAFSは料金が安い。国内のPHS事業者3グループ、NTTパーソナル、DDIポケットのPHS3社とも、PIAFSによるデータ通信の料金は一般通話と変わらない。つまり、3分間40円程度で利用できるのだ。

と、このようにいいことずくめのPIAFSなのだが欠点もある。PIAFSによるデータ通信にはユーザー側に専用（対応）のデータ通信カード（モデムカードにあたる）が、プロバイダー側にも同様に専用（対応）ターミナルアダプター（TAP）が必要なのだ。つまり、ダイヤルアップ

でインターネットに接続する場合、ユーザーが専用カードを用意しても、プロバイダーが対応していないとPIAFSでは接続できないということだ。そのため、まだ対応しているプロバイダーは少ない（右ページ下の表参照）のが難点だ。

同期 64Kbps 対応プロバイダーが そのまま利用できるα DATA

そんなPIAFSの欠点を補うサービスもある。NTTパーソナルでは、PIAFS対応のPHS端末・データ通信カードでアナログ28.8Kbpsのデータ通信をサポートした。これはPHSのデジタル

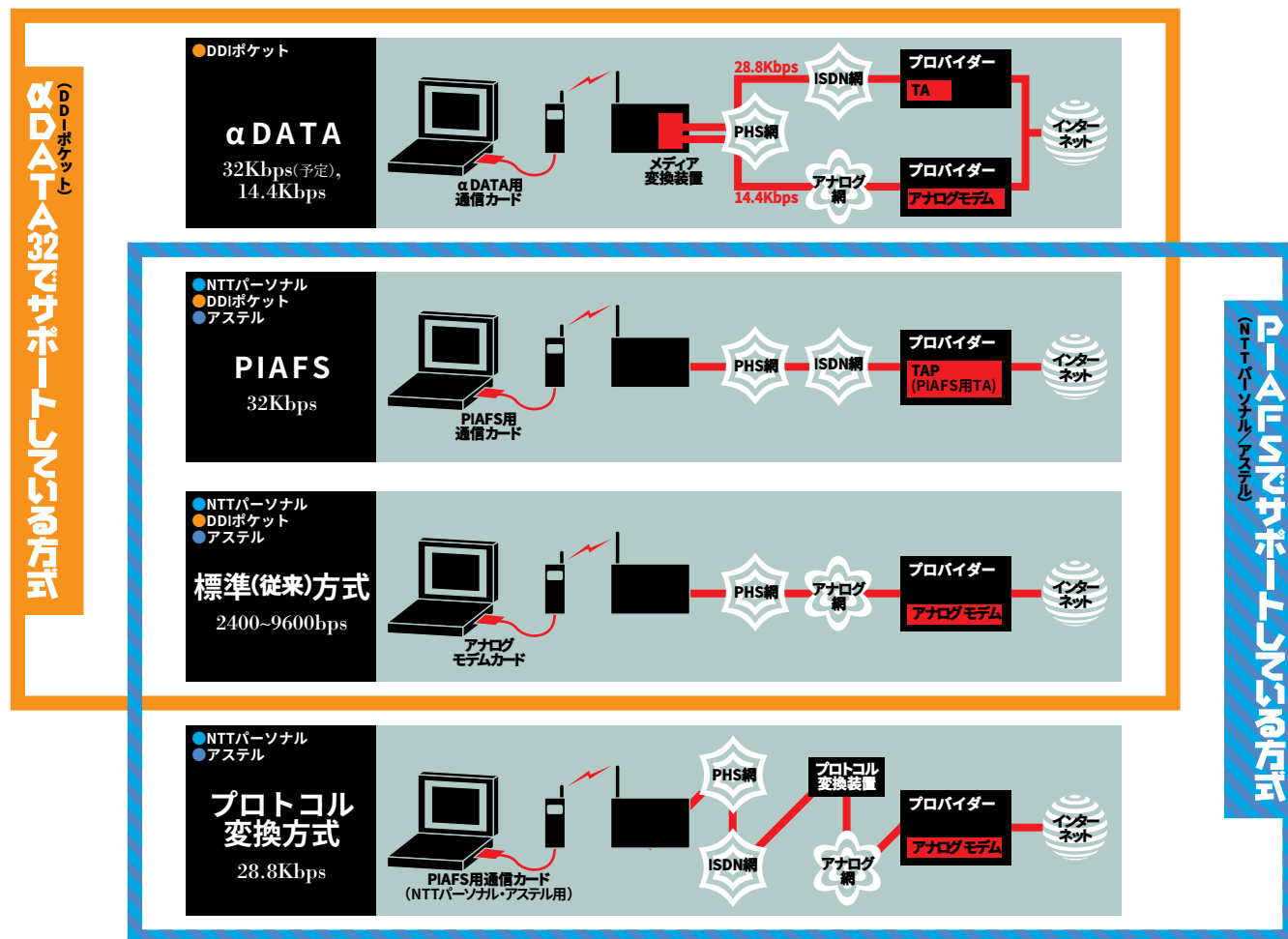
32Kデータ通信時代の PHS選び

従来の約3倍の通信速度を誇るPIAFSとαDATA32。

このページではこの2つの特徴と標準（従来）方式との違いを解説し、さらにモバイルコンピューティングに最適な方式とPHS端末を紹介していこう。



PHSによるデータ通信の方式



32Kbpsを独自のプロトコル変換装置でアナログ28.8Kbpsに変換して通信を行うものだ。これなら、ISDN64Kbpsをサポートしているプロバイダーならどこでも利用できるのだが、これには通常の通話料のほかに1分間10円の別料金がかかる。PHSの利用料金の安さがスポイルされてしまうので、これはプロバイダーがPIAFSに対応するまでの過渡的なものと考えたい。

そこで注目したいのがDDIポケットのα DATAだ。α DATAでは、独自のメディア変換機能を使った14.4Kbpsでのデータ通信ができ、しかもプロバイダーの既存のISDN同期64Kbpsのア

クセスポイントに32Kbps (実効速度28.8Kbps) で接続することができる。さらに、DDIポケットではα DATAとPIAFSを包含したα DATA32を4月1日から開始した。現時点では、モバイルコンピューティング用のPHSはDDIポケットが一歩リードしていると言えるだろう。

**これからモバイルを始めるなら
DDIポケットがベストチョイス**

さて、実際に今、端末とデータ通信カードを購入するとなるとどれがいいのか。データ通信機能を一番に考えるのなら、前述のようにさまざ

まな形式の通信が可能なDDIポケットのα DATA32のものがベストだろう。一般通話の機能とデザインは好みで選べばいい。そしてデータ通信カードは、α DATA32対応の東芝IPC0004A。NTTパーソナルとアステルのカードはPIAFSのデータ通信しか対応していないのだが、このカードは唯一ファックス機能を持っているのだ。DDIポケットの端末+東芝のカード。これが現時点でのベストチョイスだ。

なお、各社ともカードの対応機種はウィンドウズ95のみ(一部PC-98不可)だ。マッキントッシュユーザーは、もうしばらく待ってもらいたい。

DDIポケット

問い合わせ先：●0120-892-050 ●0120-176-277 (データ通信関係)

ホームページ：URL <http://www.j-plaza.or.jp/ddi-pocket/>



日本ビクター

TN-PZ5

4万5000円

連続待受時間：
約520時間
連続通話時間：
約6時間



三洋電機

**パスカル
PHS-P301**

4万4000円

連続待受時間：
約500時間
連続通話時間：
約5.5時間



東芝

**データ
キャロット
DL-S26P**

4万3000円

連続待受時間：
約450時間
連続通話時間：
約5時間



SII

データ・コミュニケーション・
カード

MC-6500

3万5800円

東芝

PHSデータコミュニケーションカード

IPC0004A

オープン価格



NTTパーソナル

問い合わせ先：●0120-898-956

ホームページ：URL <http://www.nttphs.co.jp/>



311P

3万7400円

連続待受時間：
約800時間
連続通話時間：
約8時間



312S

3万7900円

連続待受時間：
約550時間
連続通話時間：
約6時間



313S

連続待受時間：
約550時間
連続通話時間：
約6時間



32kバルディオデータカード

DC-1P/1S/1N

1万9800円

アステル

問い合わせ先：●0120-050-017

ホームページ：URL <http://www.astel.co.jp/>



AN-11

3万9000円

連続待受時間：
約450時間
連続通話時間：
約7時間



AP-11

3万7000円

連続待受時間：
約780時間
連続通話時間：
約8時間



32kbps データカード

XN-11

1万9500円

PIAFS対応プロバイダー

1997年4月7日現在

- ASAHI ネット
- BEKKOAME/INTERNET
- BIGLOBE
- DREAM★NET
- IJ4U
- InfoSphere
- InfoWeb
- JustNet
- NewCOARA
- NIFTY-Serve
- アスキーインターネット接続サービス
- 東京インターネット

ISDN公衆電話機を 使いたおせ!

最近街角でも見られるようになったISDN公衆電話機。モバイル通のあいだでは、その色から通称「グレ電」と呼ばれる公衆電話機はモバイルをする人のためにあるといっても過言ではない。しかし、電話もできてFAXも送れてそのうえデータ通信もできるこの電話機の機能と使い方は意外と知られていない。使って便利なこの電話機のすべてを紹介しよう。さあ、旅先から出張先からガンガン使い倒そう!

データ通信は簡単!

1



起動してあるパソコン本体と電話機をモジュラーケーブルで接続する。アナログ端末装置（モデムやファックス）を使う場合はアナログポートにケーブルを接続する。デジタル端末装置（ISDN用PCカード）の場合はデジタルポートにケーブルを接続する。

2



切り替えボタンを押して、ディスプレイの表示がデータ通信に変わるのを確認。

3



カードもしくは硬貨を入れる。ディスプレイ表示が「接続端末からダイヤルしてください」に変わる。

4



あとは、パソコンの通信ソフトを使って通信スタート! パソコンのモニターで正常に通信が行われているかを確認しよう。

※ISDN電話機の機種によって押すボタンが異なるので注意しよう

エチケット

Etiquette

ISDN公衆電話機を使って1人で長時間データをダウンロードするのは他人に迷惑。場所と時間をわきまえて利用するよう心がけよう。

これがISDN公衆電話機のすべてだ



1 ディスプレイ

カード残度数の他に硬貨残枚数や通話可能時間、通話先相手番号や、操作の方法を表示する。

2 操作説明ボタン

このボタンを押すと、データ通信の操作方法がディスプレイに表示される。

3 オンフックボタン

ボタンを押せば受話器を持たずに電話をかけられる。

4 メモボタン

通話中にこのボタンを押してから、電話番号を押せばその番号をメモしてくれる。通話が終わったら、受話器をフックに置かずにそのままリセットボタン(5)を押せばその番号に自動発信してくれる便利な機能だ。

5 リセットボタン

通話終了後に受話器を置かずにそのまま電話をかけたい場合にこのボタンを押せば、いちいち硬貨やカードを入れなおさずにそのまま電話ができる。

6 サブアドレスボタン

電話先のINSネットのサブアドレス機能を使う場合に使用するボタン。

7 テレホンカード挿入口

上下2段あるが、どちらも挿入口兼返却口なので、度数の残りが少ない場合には両方にカードを入れておけば合計の度数が有効になる（通常は赤ランプが点灯しているほうに入れる）。

8 切替ボタン

公衆電話機能とデータ通信との切替をするボタン。

9 アナログ端末接続口

アナログ端末機（モデムやファックス）を使用するときにモジュラープラグをここに差し込む。

10 デジタル端末接続口

デジタル端末機（ISDN対応のPCカード）を使用する時にモジュラープラグをここに差し込む。

ISDN公衆電話は モバイルの基地だ!

ISDN公衆電話機が、さまざまな機能を集約した公衆電話の王様であることはおわかりいただけたと思う。現在全国に約5万7千台（平成8年9月現在）。駅や繁華街、ホテルなどに設置されているのでご存じの読者も多いと思うが、この電話機のデジタル回線を使用すればISDNカードで64Kbpsもしくは128Kbpsの高速通信が可能となる。この通信速度は32KbpsのPIAFSよりも速いので、より快適な通信ができる。つまり、ISDN公衆電話機はモバイルコンピューティングの強い味方といえる。

必殺の「グレ電」裏ワザ! 通信しながら電話もできるぞ

ところで、意外と知られていないのが、「グレ電」にはこんな使い方もあるので伝授しよう。それは、データ通信しながら電話でおしゃべりする方法だ。そもそもISDNは、1つの回線で同時に2つのことができる。つまり、通信しながら別のところに電話できるのだ。グレ電もISDNを使用しているから、やはり通信しながら通話もできる。目印としてはモジュラージャックの蓋が黒いものが通信しながら通話できるタイプのものだ（受話器をとればそのまま電話がかけられる機種とオンフックボタンを押してダイヤルする機種があるぞ）。これならば、仕事のメールを送りながら彼女とも電話ができるぞ! しなくてもいいけど…。



○この黒い蓋が目印。



○ISDN用通信カード。

ホテルの部屋からインターネット

出張先や旅先のホテルからインターネットをするのはどうしたらよいのだろうか？意外と知られていないのだが、最近のホテルには通信設備が充実したところもある。カーテンの陰やデスクの上にひっそりと通信用のデータポートが出ていたり、電話機本体にポートがついているものもあるので部屋に入ったらすぐにチェックしてみよう。



CASE 1 部屋に通信用のデータポートがある場合

都市型ホテルでは、部屋に電話機のほかにファックスやデータ通信用のモジュージャックを



撮影協力：リーガロイヤルホテル早稲田

設備しているところがある。シャワーを浴びたらさっそくインターネット接続といきたいが、ホテルによってはフロントに接続がないと交換機側で回線を閉じている場合もあるので、必ずデータ通信を行う旨をフロントに連絡するほうがよい。

OnePoint

必ずしも通信ポートが電源の側にあるとは限らないので、携行しやすい電話線の延長ケーブルとACコードは必ず持ってゆこう！

CASE 2 電話機本体にデータポートが付いている場合

この場合も、ほぼデータ通信は可能だ。しかし、多くのホテルでは、外線発信番号に「0」や「1」などの番号が必要なため、接続ソフトのダイヤル設定の外線発信番号ダイアログに「0」を入力設定する必要がある。また、接続の設定を「ダイヤルトーンを待たずに発信」に



しておけば、問題なくインターネットに接続ができる。もし電話機本体にデータポートがなくても、モジュラーケーブルを、電話機本体もしくは壁のモジュージャックから取り外してもよいホテルであれば、家でしているようにケーブルをパソコンに接続すれば通信できる。

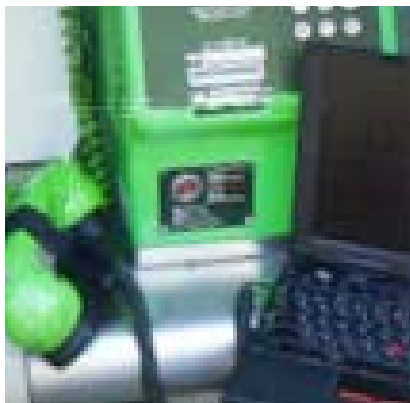
OnePoint

国内ではまだ少ないのだが、宿泊施設がデジタル交換機(PBX)を使っている場合は、モデムの使用を避けたほうがよい。なぜならば、電話線に流れている電圧が高いために、モデムをショートさせてしまう可能性があるからだ。そうすると、最悪の場合はホテルの電話交換機を壊してしまうこともあるそうなので、できればモデムセーバー(243ページ参照)などで回線が通信に使用できるか否かをチェックしてから始めよう。

CASE 3 最後の手段！世界の果てからでも通信できる

外国のホテルや宿泊先にISDN公衆電話機もなく、部屋にも電話線が抜き差しできない電話機しかない場合にはどうしたらよいのだろうか。

意外とこういったホテルもまだまだ多いので、あらかじめ宿泊先に通信環境を確認することをおすすめするが、それでもどうしてもメールを送



騒音が激しいところでは通信エラーが起こりやすいので注意しよう。

らなければならないときには「音響カプラー」(243ページ参照)を使うしかない。はっきりいって、これは接続ソフトで通信を開始するタイミングと電話機のフックを上げるタイミングに経験が必要なので、慣れない初心者には難しいが、このツールを使えば9600bpsほどで通信ができることもある。かなり遅いがメールのやり取りぐらいならば問題はない。弱点は周囲の騒音に影響されやすいことだ。もし携帯電話が使えるようであれば携帯電話用の通信モデムカードを使ってインターネット接続することをおすすめする。

OnePoint

音響カプラーを使う場合には、電話機とカプラー本体の密着度がポイントとなる。「ピーガラガラ…」という音のデータを受信器から送信しているので、周囲がうるさい場合にはガムテープなどで消音対策を講じる必要がある(ここまでできれば、世界中どこからでも通信できる)。



教えて! モバイルコンピューティングでできること!

PIAFSによるデータ通信が可能となり、ますますモバイルコンピューティングが身近なものになったが、なぜ、外出先にまでコンピュータを持ってゆかなければならぬのか? いまひとつ納得のゆかないあなたに基本的なモバイルコンピューティングの活用事例を紹介しよう。ここまで便利なものを使わない手はないぞ!

モバイルコンピューティングは高速接続サービスでパワーアップ!

ノートブックパソコンの高性能化および軽量化と、インフラの成熟で、モバイルコンピューティングが本当の意味で使える時代になってきた。今までは、スケジュール管理やプレゼンテーション、またはファックスなどを外出先から送信するためにノートブックパソコンを持ち歩く人が多かったが、PIAFSなどの32Kbpsの高速接続サ

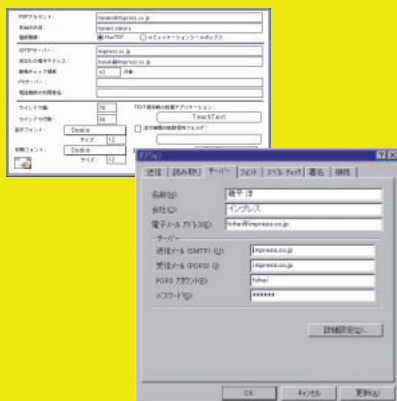
ービスの登場で、メールを外から読むことはもちろん、WWWによる情報検索、大きなデータファイルの送受信などが可能となったため、インターネットを外出先から使うメリットがより明確になってきた。これらのメリットを活かせれば仕事や遊びも今まで以上に充実したものになるはずだ。自宅やオフィスにあるインターネット環境を外に持ち歩く感覚と思っていたらそれの便利さを理解してもらえと思う。PHSとノートブックパソコンでインターネットをフル活用しよう。



会社のメールを 外から読んでみよう!



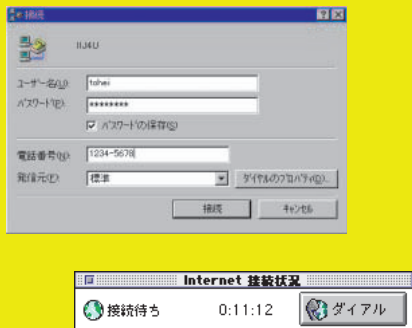
ほとんどの場合、メールの設定をする必要があるはず。その場合、通常使うメールのほかに会社用のメールをインストールするか、複数のメールアカウントを登録できるメールソフトを使う必要がある。



ノートパソコンを買ってモバイルするのならやはり家や外出先から会社のメールを読めなくては意味がない。これで、メールをチェックするために休日出勤なんてこともなし。休日でも安心して外出することができるのだ。

しかし、外から会社のメールサーバーにアクセスできるか否かは会社のネットワークのシステム構成によって異なるので、メールソフトの設定などは会社のネットワーク管理者に相談したほうがよいだろう。

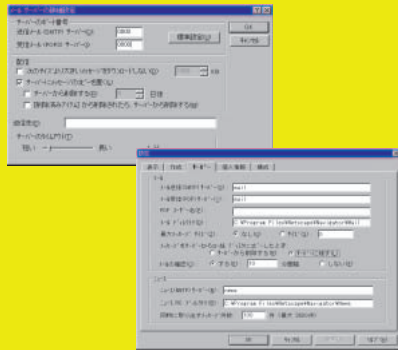
設定が終わったら、自分の入っているプロバイダーにアクセスする。会社用に設定したメールソフトを起動すると、会社のメールサーバーからメールを持ってくる。これは、ちょっと不思議な感覚だ。



●複数の設定が使える代表的なメールソフト

- ・ウィンドウズ用
Eudora-pro3.0
NETSCAPE Communicator
Microsoft Exchange
Becky!
WeMail
- ・マッキントッシュ用
NETSCAPE Communicator
DOLPHIN

ぜひ注意して欲しいのが、外から読んだメールは会社のメールサーバーに残すという設定にしておくことだ。なぜなら、外で受け取った資料やデータなどを会社に帰ってからいちいちコピーするのは面倒だからだ。各種メールソフトのサーバーに関する設定のところで、サーバーにメールを残すという設定にすることをすすめる。



ノートパソコンが あなたのオフィスになる!

電子メールやFAXなどのデジタルコミュニケーションをうまく使えば、ノートパソコンはたちまちオフィスに早変わりする。仕事も能率もあがるという理由で、ここ数年企業ではグループウェアソフトなどを導入し、イントラネットやインターネットと連動させて、モバイルコンピューティングをビジネスで活用するためのシステム構築にのりだした。しかし、この特集では、個人がより実用的にモバイルコンピューティングを活用するための方法として、メールやFAX、情報検索の方法を紹介してゆこう。

外出先で メールの送受信をする

旅行先や出張先から電子メールを読んだり、送ったりすることができれば、これほど便利なことはいない。ビジネスマンの場合には、会社にLANや電子メール、インターネット、グループウェアなどのインフラが整っていて、電話回線に接続されたメールサーバーが設置されていれば、外出先から社内のメールを読むことができる。また、ほとんどの電子メールソフトは、ファイルの添付ができるので、画像ファイルやエクセルのデータを添付して送信することができる。たとえば、デ

ジタルカメラで撮った画像データをメールと一緒に送れる。タクシーの中で営業の資料をもらっている某携帯電話会社のCMはもう当たり前のことになるのだ。

FAX送信で ホテルをプリンターにする!

出張先で急速プリンターが必要になり困った経験をしたことがある読者も多いのではないだろうか? プリントアウトができないから出張にはパソコンを持ち歩かないという話も聞くが、そんな人たちにホテルをプリンターにしてしまう方法を教えよう。

一番簡単な方法は、ウィンドウズユーザーであればSTARFAX、マックユーザーであればFAXstfなどのファックス通信ソフトを使い、ワープロや表計算で作成したファイルを、ホテルのISDN公衆電話や部屋にある電話回線から、宿泊先のホテルのファックスにダイレクトに送信する方法だ。送信したら、あとはフロントからの連絡を待てばそれでオしまい。「部屋に届けてください」とコメントを付け加えておけば、ホテルによってはベルボーイが持ってきてくれる。もし、ファックス通信ソフトがなくてもウィンドウズ95ユーザーであればわざわざソフトを買わなくとも、アプリケーションの追加でマイクロソフトExchangeのサービスを使ったFAXの送受信機

能を追加できるので、出張前に設定しておくとう便利だ。しかし、最近では大きなホテルにはビジネスセンターなどの設備がある所も多いので、あらかじめフロントでプリンターなどの設備があるかどうか確認してみるのもよいだろう。

WWWで役立つ情報を 即効収集!

旅行先や出張先で意外と役立つのが、WWWの情報検索だ。新聞はもとより、道路の渋滞情報や、時刻表、地域の名産品、温泉や観光名所などの情報が即座に検索できるメリットを活かそう。詳しくは今月号の小冊子「出張に役立つ便利サイト101」で。



ノートパソコンのデータは他のマシンと連携して使おう

フロッピーディスクで安価に連携

この方法が一番ポピュラー。費用も非常に安価だ。最近ではZipやMOディスクなど大容量の外部記憶メディアも出現してきたが、ノートパソコンのドライブにはまだ標準化されてない。1.4MBという容量でも文書や表計算シート程度のデータを保存するなら十分。ただし、フロッピーディスクドライブが外付けの場合にはドライブをお忘れなく。
(実勢価格10枚400円程度)



フラッシュメモリーカードで高速連携

書き込みや消去が約100万回もできて、耐衝撃性、省電力性が優れているのがフラッシュメモリーカード。PCカード型なので、PCMCIAスロットのある他のマシンに差し込むことでフロッピーディスクのようにデータのやり取りが簡単にできる。データ伝送スピードは高速なのだが、デスクトップマシンでPCカードに標準対応したものがまだないのが残念。価格も比較的高いのだが、軽くて省電力という点でモバイルコンピューティングにはおすすめ。最近では、デジタルカメラなどで利用されているコンパクトフラッシュメモリーという新しいタイプのものも登場してきた。電源を切らずにカードを抜き差しするとデータを破壊する可能性があるので、取り扱いには注意



赤外線通信(IrDA)でワイヤレス連携

ケーブルを使わずに赤外線でデータの転送が行える。最近のノートパソコンの多くには赤外線送信ポートが本体に内蔵されているものが多いが、現時点ではデスクトップマシンに標準装備されてはいない。操作が簡単で、比較的高速にデータ交換ができるところが魅力。(実勢価格1万円程度)



ウインドウズ95を使っている読者にはおなじみのブリーフケースアイコン。普

ブリーフケースをの活用しよう!

段ネットワークでメールやデータのやり取りをする際に非常に便利なのがこのブリーフケース。なぜかという、ブリーフケースに共有するファイルをストックすると、元のファイルはそのまま、ブリーフケースの中に元のファイルと連動したコピー

が作られる。このファイルはお互いの日時を比較しているため、片方が新しくなると自動的に更新されるので、2台のパソコン間でデータ交換をする場合にブリーフケースを利用すれば、一方だけが古いファイルということがなくなるので、常に最新のデータを共有することができる。



ブリーフケース

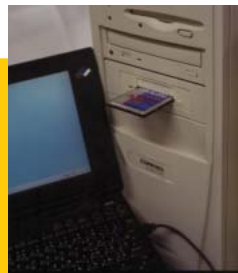
知って便利 モバイルの 小技をマスター!

モバイルコンピューティングの基本が身に付いたら、もっと便利に使いこなす技を覚えよう。最強のモバイルマンになるための、小さな技を伝授するぞ!



ケーブルを使ってデータ連携

ウインドウズ95ユーザーであれば、安価で確実なのがケーブルを使ったピア・ツー・ピアという2台のパソコンを接続する方法。このケーブル接続をする場合には、2台のウインドウズマシンをあらかじめケーブル接続用の設定にしておく必要があるが、ケーブル接続だけで大容量のデータが共有できるのはとても便利。接続できるケーブルはシリアルケーブル、パラレルケーブルの2種類があるが、値段も変わらないのでデータ転送効率の良いパラレルケーブル(インターリンクケーブル)がおすすめ。



すめ。しかし、パソコンの機種によっては、通信に使用するCOMポートの割り当てなどの設定を変える必要があるの

で、そんなときはマニュアルと格闘するぐらいの勇気は必要だぞ。マッキントッシュの場合は比較的簡単で、アップルトークというケーブルを通信ポートに接続し、コントロールパネルで共有設定を行えばLANが組める。
(パラレルケーブル実勢価格1400円程度、アップルトークケーブル実勢価格2000円程度)

電源オフかハイパネーションか、はたまたサスペンドか

とりあえずひと仕事終わってパソコンから離れるときに、必ず考えて欲しいのが、次に使うまでの時間だ。

通常の「電源オフ」は、マシンの電源を消してしまうのでバッテリーを消費することはないが、起動するときにハードディスクやメモリの読み込みなどでバッテリーに負担がかかる。次に、「ハイパネーション」という設定がある。これは、電源を消す時の状態をハードディスクに保存してオフになる。再起動



した時に、電源を消す前の状態になるので大変便利だが、起動のときに多少時間がかかってしまうのが難点。

これに対して「サスペンド」はメモリなどの重要な部分以外への電力供給を止めて、いわば仮眠状態にするというもの。この場合、素早く作業を再開できるというメリットがある。しかし、バッテリーは消費し続けてしまう。

このような特性を考えて、次に自分がいつ、どんな状態でマシンを起動するのかを考えて作業を中断する方法を選ぶ。なお、設定の仕方は機種で違うのでマニュアルなどで確認しよう。

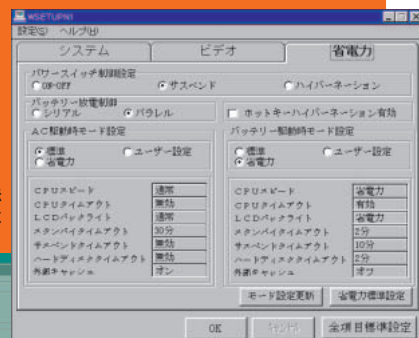
また、内部メモリーを増やしておけば、ハードディスクの負担も軽減されるので省電力になる。

バッテリーを長持ちさせる省電力のワザを覚えよう

ノートパソコンの省電力設定を徹底的に使いこなそう

ノートパソコンの省電力モードの方法は機種でまちまちだが、たとえばCPUスピードを遅くすることで処理速度をある程度犠牲にしながらもバッテリーの消費を抑えたり、キー入力がなければ画面を暗くしたりと、方法もさまざま存在する。

最近のノートパソコンはACを使用しているときとバッテリー駆動のときに、CPU処理速度を自動的に省電力モードに設定してくれるものもあるが、付属のユーティリティソフトで強力な省電力モードに設定することが可能なノートパソコンもある。持ち歩く時間が長いときは、あらかじめ一番長持ちする設定にしておいたほうがよいだろう。設定の方法は機種によってまちまちなので、マニュアルを見て設定しておこう。



省電力のための細かい設定方法は、各機種によって違うので注意しよう。



軽量小型、種類いろいろのフラッシュメモリーカードを使いこなそう

ノートパソコンにあるカードスロットにフラッシュメモリーカードを挿入すれば、ハードディスクの代わりの記憶メディアとして利用することができる。通常はType II といわれるサイズのものであるが、最近はデジタルカメラのメモリーカードにも使える新しいタイプのメモリーカードも登場してきた。



フラッシュメモリーカード

衝撃に強く、しかも低消費電力で高速データ転送が可能。中には100万回以上の読み込み書き込みが可能なのもあるので、モバイルコンピューティングに適している。
(実勢価格10MBで2万5000円～)



コンパクトフラッシュカード

機能的にはフラッシュメモリーカードと同じであるが、カードの4分の1の大きさのメモリー部分がカード本体のアダプターに抜き差しでき、容量によって交換できるタイプ。
(実勢価格アダプターと10MBで2万5000円～)



スマートメディア

デジタルカメラのメモリーとして最近多くの機種で採用されているタイプ。容量はあまり大きくないが、デジタルカメラの画像を扱うのには便利だ。
(実勢価格アダプターと2MBで1万円～)

撮影協力：アイ・オー・データ機器 アルプス電気

編集編集部がロードテスト 検証! PIAFSの実力

去る4月より始まった32Kbpsデータ通信サービスだが、果たしてその実力はいかなるものなのか。実際にその実力を知りたい読者も多いはず。社内でPHS電話機による通信がほとんどできない私たち編集部員にとっても、とても気に

なるところ。そもそもPHS電話は、1基地局がカバーする範囲が100～200メートルと狭いとか、アンテナが増えたとはいえ1基地局につき通話可能な回線数が3本しかなく、夕方の渋谷や新宿の待ち合わせスポットではビジーが多いと

か、車での移動時には使えないとかいう噂も聞くが、一方では地下鉄やデパートの中でも使えるというメリットもあると聞く。

そこで編集部が実際にノー



通信実験開始！ 週末のハチ公前 待ち合わせスポット編

1つのアンテナに最大3人しか通話できないというPHS。そのため、混雑する場所では、アンテナが足りなくて通話できないというのがかつての定説だった。そこで、週末の夕方、渋谷のハチ公前という待ち合わせスポットとしては定番の場所では試してみた。



デパートが乱立する 電波の障害物が多い 渋谷の街中編

電波の出力が携帯電話に比べて弱いPHSは、ビルの谷間や路地裏では通話ができないというのが常識だった。そこで、渋谷の公園通り周辺の細い路地などの、建物と建物の間まなく歩き回ってチェックした。



電波の届かない 広い公園では？ 代々木公園編

PHS電話は、基地局から電波が届く範囲が100～200メートル程度だ。そのため、広い公園の真ん中などでは電波が届かずに通話できないと言われている。そこで代々木公園の真ん中でチェックしてみた。

評価



アンテナ



通信状態

周りは人であふれかえり、PHSでおしゃべりしている女子高生が多く通信は困難かと思われたが、すんなりとつながった。何度もつながり、すべてつながった。編集部員に実験結果をメールし、次の目的地、デパートの乱立する街中へと向かった。



評価



アンテナ



通信状態

街中に行くと電波の受信具合は結構不安定になった。しかし、通信は十分可能だった。なぜならば、基地局のアンテナは電話ボックスのみに設置されているわけではなく、NTTの電信柱にも設置されていたのだ。これならどこに行っても通話可能なわけだ。このときわかったのだが、アンテナの本数がゼロになっても通信が切れなかった。通常アンテナがゼロの時は通信できないのだが……。ゼロになっても通信できた。

約30分ほど渋谷駅周辺の路地裏やデパートをうろついていたが、通信良好。しかし、1台のトラックの通過であっさり途切れてしまった。もしかしたらこれは意外な障害物かもしれない。気をとり直して公園通りから約1km先の代々木公園に向かった。

▶ 頭上の電信柱にPHS用のアンテナを発見！意外なところに基地局があるものだ。

評価



アンテナ



通信状態

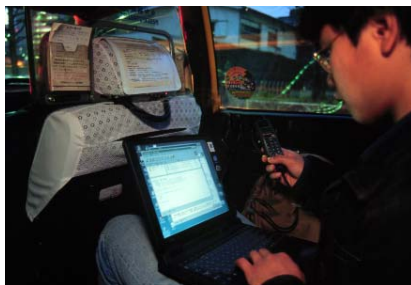
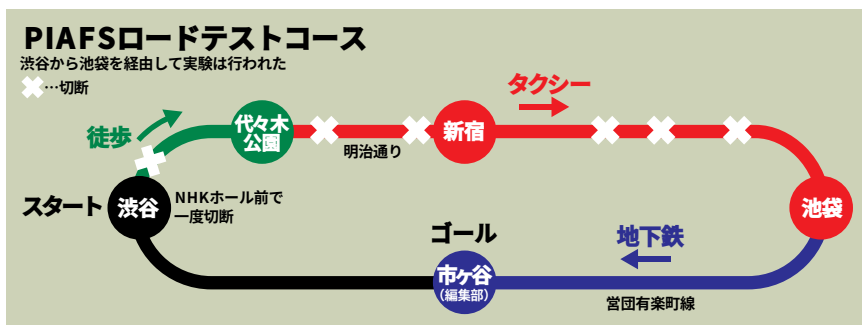
代々木公園に関しては行けども行けども受信感度が悪くなることはなく、データ通信も絶好調！しかも、公園を渡り歩く15分の間にあっさりリアルプレイヤーをダウンロードすることができた。恐るべしPHS！代々木公園の真ん中でリアルビデオが見られた。都内はどこに行ってもアンテナだらけなのか？公園出口からアメリカに出張中の編集長にメールで報告。



トパソコンを手に、32Kbps データ通信の実力を検証するべく、タ方の渋谷から新宿、池袋、そして地下鉄でPIAFSによる通信実験を試みた。なおα DATA32に関しては、この実験時にはまだ対応PHS端末とデータ通信カードが未発売で使用できなかったため、実験は見送った。

今回実験に使用した機器はNTT パーソナルのバルディオ311S、加入プロバイダーはinfoWeb、ノートブックパソコンはPanasonicのLet'sNote (AL-N1) と富士通のFM-V5133NP5/W。

……その結果は驚きの連続だ！



高速移動する タクシー編

さすがに歩いて移動するくらいだと通信が切れることはないようだ。それでは、タクシーでの移動はどうであろうか。代々木公園から新宿経由で池袋のコースで実験を試みた。今回はNTTドコモの携帯電話も同時に使用して、比較してみた。



アンテナの本数と 通信速度の関係は？ PHS使えますシール のある地下鉄編

最近、地下鉄の構内にPHSマークが貼ってある駅も多い。そこで、果たしてそのシールから何メートルの範囲で通信ができるのかを実験してみた。大きな駅のホームの端から端までPHSの電波は行きとどいてるのだろうか。

PIAFS vs NTTドコモ

携帯電話とPHSで、300KBの画像ソフトをメールに添付して何分で送れるかというデータ送信スピードを実験してみた。

NTTドコモ 通信速度……9600bps

送信時間……3分43秒

PHS 通信速度……32Kbps

送信時間……34秒

この結果はあまりに歴然。通信速度はPHSが32Kbpsと、携帯電話の約3.5倍なのだが、データ通信に関しては約6倍もの時間差がでた。

評価



アンテナ



通信状態

タクシーに乗っても信号で止まっているときは常にアンテナは3本。新宿に向けて走り出しスピードが30Kmから40Kmになるにつれてアンテナは2本から0本に。結局、明治通りで新宿から池袋に着くまでの約20分間に計5回通信が切断された。同時に実験したデジタル携帯電話のほうは一度も途切れることなくデータの送受信もできた。やはり、PHSはエリアが違う交換機をまたぐと通信が一時途切れてしまうようだ。ところで、タクシーの車内で小さいディスプレイを眺めながら仕事をするのはおすすめできない。編集者が気持ち悪くなり、一時休憩が必要となった。(冷たいジュースもご馳走させられた。) PHSを吸盤フックで車内の窓に貼り付けると両手でパソコンが打てるぞ。

評価



アンテナ



通信状態

編集部スタッフがPHSとノートパソコンを片手に地下鉄の構内に潜入。改札口から階段を降り始めるといきなりPHSのアンテナマークが3本に！ホームの端から階段の裏、そして売店の横や柱の陰を歩いてみたものの常にアンテナの受信感度はピンピン状態。すると代々木公園でアメリカに出張中の編集長に送ったメールの返事をEudora-proが受信。帰宅するビジネスマンをよそに着信のメロディーが流れてしまった。(♪タラララッタッタは結構聴かしい。) 恐るべしPHS、こんな所でメールが読める時代になるとは。結局PHSシールが貼ってある駅ではどこでも通信が可能と判断。会社に戻る電車に乗ったが、30秒ほどはアンテナが3本立っていた。

結論！

PHS32K データ通信は 使える

今回のロードテストでは、PIAFSの実力をまざまざと見せ付けられたと言っても過言ではない。大都市渋谷、新宿、池袋ということで、PHS電話に関する設備環境が整っていたことを差し引いても、32Kbpsの高速データ通信は歩きながらも快適に行えるすぐれもの。ノートパソコンでインターネットに常時接続し、ネットサーフィンしながら街を歩か回れるのはとても魅力だ。喫茶店でのメールの送受信もストレスなくできる。まさにモバイルコンピューティングの時代がやってきたと言えるだろう。しかし、市ヶ谷にある我が編集部ではPHSの電波の入りがあり良くないのがさびしい。

PIAFSの普及で、ますますモバイルコンピューティングの将来が楽しみになってきたが、せっかく便利なこの環境を海外でも利用したいと思う読者のために、基本的な海外モバイルの知識を伝授しよう。

海外モバイルを实践する！

電源、モジュージャックの用意ができたなら、あとは現地でインターネットを利用できればモバイルコンピューティングの環境が整う。しかし、わざわざ海外から日本に国際電話をかけたのでは通信費はいくらあっても足りない。そこで、簡単なのが、あらかじめ海外にアクセスポイントのあるプロバイダーに加入しておくことだ。たとえば、MSNやIBMなどは世界各国にアクセスポイントがあるだけではなく、インマルサットなども利用できる設定があるので、アマゾンジャングルからでも衛星電話でインターネット接続ができる。また、メールのやり取りのみでよいのであれば、ニフティサーバー入会時にオプション契約のCompuServeに入会していれば、パソコン通信網を経由してインターネットとの接続もできる。

STEP 3

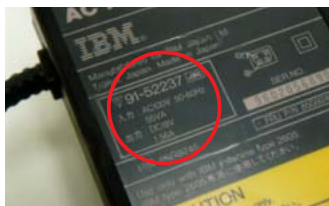
海外にアクセスポイントがあるプロバイダーに加入しておく！

海外にアクセスポイントのあるプロバイダー

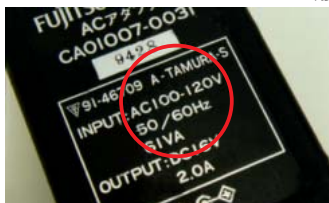
- ウィンドウズユーザーにはおなじみのマイクロソフト社のインターネットサービス
URL <http://www.jp.msn.com/>
- 世界47か国830拠点以上のアクセスポイントがあるIBMのインターネットサービス
URL <http://www.ibm.co.jp/internet/intool/intool.htm>
- 誰もが知ってるNIFTYServeのホームページ
URL <http://www.niftyserve.or.jp>
- CompuServe社のホームページ
URL <http://world.compuserve.com/>

出かける先が決まったら、まずは電源の電圧や周波数、そして電源プラグの形状を調べておこう。日本国内は、電源プラグの形状は1種類だが、海外では大きく分けて7タイプあり、国によって電圧も周波数もプラグの形状もバラバラなので、あらかじめ旅行情報誌やトラベルガイドなどで調べておく必要がある。大使館などに電話をして聞くのも確実な方法。

ノートパソコンには、ACアダプター自体が100～240V、50-60Hzに対応しているものもある。ACアダプターの裏をよく見てみよう。このときは変換プラグを付けねばすむが、国内で使用している100V用ACアダプターを海外で使用する場合は、あらかじめ変圧器（コンバーター）を用意する必要がある。しかし、変圧器はそれ自体かなりの重さがあるので、できればメーカーに問い合わせ、海外用のACアダプターを購入することをおすすめしたい。



AC100V 50～60Hz用



AC100～120V 50～60Hz用



AC100～240V 50～60Hz用

さて、電源回りが用意できたら、次はモジュージャックの変換プラグ。

これも、海外では統一されておらず、ジャックの形状自体は、日本はアメリカと同じUS-RJ11というタイプだが、ヨーロッパやアジアでは同じ国内でも数種類の形状が必要な国もあるので要注意！

そんなときに役立つのがRoad Warrior Internationalのホームページ。ここには電話のプラグの形状が国別のリストになっているので、旅の前に必ずチェックしてみよう。



A 各国の電源変換プラグ
B 各国のモジュージャック



URL <http://warrior.com/>
International Modem and Telephone Adapters
のページをチェックしよう。



STEP 1

電源の電圧や周波数を調べよう！

STEP 2

通信の要！旅先に合わせたモジュージャックを用意する

世界のいかなる土地にあっても 通信が「できない」のは、 できることを 「やっていない」 だけのことだ



山根一眞

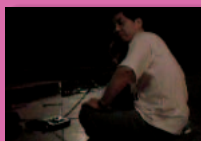
ノンフィクション作家

モバイルコンピューティングのプロ集団“情報山根組”を率いる。『メタルカラーの時代』（小学館）などの多くの著作の多くの部分は移動中に執筆しているという。『未来派宣言』（NHK）の司会としても活躍中。

日本、いや世界を駆け巡りながら原稿を送りつづける山根一眞氏。コンピュータを使ったデータ通信が急速に発展するなか、それを自らの活動の武器として使いきっているモバイルの達人だ。氏が実践してきたモバイルは、カセットテープに書いた原稿を読み、録音して電話で送ろうとしたという段階から、アマゾンの船上にいるにもかかわらず、コンピュータネットワークを通じて原稿データを送るというドラスティックな変化を遂げてきている。そんな、モバイルの歴史の最先端を走っている山根一眞氏からメッセージをいただいた。

1851年、世界で初めて英仏海峡を結ぶガタバーチャ海底ケーブルが開通した。これによってロンドンとパリの株式取引所は同日内に株式の引き合いができるようになった。そのビジネス効果が、全世界への海底電信ケーブルの普及にはずみをかけた。世界各国相互の自由な電気通信が持つ意味は、インターネット時代の150年後の今もまったく変わらない。世界規模での仕事の効率化、迅速化、そして低コスト化は、あらゆるジャンルの人々にとって共通の、そして永遠の欲求なのだ。映画『史上最大の作戦』のエピソードは、従軍記者が記事送稿を伝書鳩に託し放つシーンだった。だが鳩は逆方向に飛び去り記者をがっかりさせた。それは1980年代半ば、滞在していたワシントンDCのホテルから日本へ何とかコンピュータ通信接続をしようと、電話機の分解までして脂汗を流し奮戦した時代とオーバーラップしたのだった。

だが今の時代は違う。コンピュータ通信のインフラストラクチャーは全世界に張りめぐらされ、いかなる土地でも自由な通信が可能になっている。電子メールなど夢に見ることすらできなかった時代、私はアマゾンで書いた原稿を読み上げて録音し、倍速モードで再生した音声電話口で送るという2分の1情報圧縮送信まで試みた。その時代と比べれば、今のアマゾンの通信環境は天国だ。世界のいかなる土地にあっても通信が「できない」のは、できることを「やっていない」だけのことだと知るべきなのである。



地球の果てから インターネットに接続した モバイルの強者たち



ここからはあらゆる困難を解決しながら
ユーラシア大陸の大平原や
地球の裏側の緊迫する事件現場、アマゾンの奥地から
インターネットに接続し、日本にデータを送り続けた
モバイルの強者たちのレポートをお送りしよう。
「つながらないと困る!」この強い動機と、
「つながるまでやる!」この強靱な意志のもと、
いかなる場所からでも接続させるプロフェッショナル。
彼らの奮闘記とノウハウを味わっていただきたい。



田中勝之

(LDY05606@niftyserve.or.jp)

阪神淡路大震災の際、ボランティア活動において通信を確保するために始めたのがモバイルの初め。公衆電話でニフティサーブにオンラインサインアップしたという逸話もある。情報山根組最若手の彼は、5kgはあるリュックを軽々背負ってモバイルを実践している。職業ライター。

モンゴル

大平原編

今世紀最後の日食をインターネット
で中継すべくモンゴル入りした情報山根
組の最若手ライター田中勝之氏。広大
なユーラシア大陸のど真ん中からインテ
ーネットに接続し、リアルタイムで動画
を送るという世界初のこの無謀な計画は
果たして成功するのか!?

(取材・写真・文/田中勝之)

モンゴルといえば 大草原と遊牧民では?

日食まで
あと
7日

「え! モンゴルでインター
ネット中継だって?」。は
じめてLIVE! ECLIPSE
97°によるモンゴル中継の
話を知ったとき、私は首をかしげた。ど
うしても“モンゴル=大草原でのんびり
暮らす遊牧民”というイメージしか湧い
てこなかった。疑問と不安を抱いたまま、
私は、3月9日のモンゴル皆既日食イン
ターネット中継の現場を取材するため、
3月1日、中継チームより先にモンゴル
入りした。そして、中継地であるダルハ
ン(首都ウランバートルから北約200Km)
には、電話自体がまず
ないとのこと(ダルハ
ンの宿泊ホテルでも、
日食の前日に電話局
がやってきてカード式
の公衆電話を突貫工



事で設置していた)。そこで早速私が、
中継班に代わり中継用の通信回線の確
保に奔走することになった。しかし、問
題は意外にあっけなく解決した。なんと
GSM携帯電話^①があったのだ。しかも、
専用のPCMCIAカードを使えば、
9600bpsでデータ通信もできるという。
早速、3月3日、モビコム(モンゴルの
携帯電話会社)で電話機とカードをレ



ンタルした。

まさかモンゴルに携帯電話とは…。私
のモンゴル観は一気に崩壊した。

いざ、中継準備開始

日食まで
あと
24時間

モンゴル中継班の田中淳子
さんが単身ダルハンに到着
したのは、皆既日食の前
日、3月8日のことだった。
「やばいぞ。日食に間に合うか?」。そん
な思いの中、皆既日食インターネット中
継の準備が小さな臨時ホテルの一室で始
まった。取材に当たっていた情報山根組
(ちまたではドカチンのデータ通信達人
集団とウワサされている?)の私もいつ
の間にか中継班の一員と化していた。



カードの ドライバーソフトがない!

中継のために田中淳子さんが特参した機材は、400ミリのズームレンズ、CCDカメラ、三脚、カノーブスのV-Portというパソコンのビデオキャプチャ装置、ノートパソコンと接続ケーブルが各種。意外に少ない器材で中継できるのだと感心しながら、まずは携帯電話とPCMCIAカードを使ってデータ通信テストを始めた。が…、いくらやってもパソコンがカードを認識しない。ドライバーソフトがウィンドウズ3.1用だったためだろうか。田中さんが日本のスタッフに電話で助けを求めると、PCMCIA



カードメーカーのホームページにウィンドウズ95用のドライバーソフトらしきものがあることが分かった。しかし、電話は使えない。そこで、携帯電話の基地局建設のためダルハンに駐在していたKDDスタッフの佐藤さんに、神にも祈るような気持ちで助けを求めた。そして、運良く彼のいたダルハンのモビコムオフィスの電話回線を借りることができ、無事ウィンドウズ95用のドライバーをダウンロードすることができた。これを交換し、田中さんのパソコンにインストールし、やっとデータ通信に成功した。

この瞬間、モビコムオフィスは大歓声で沸いた。通信速度は4800bpsと少々遅くはあるが、なんとか携帯電話による通信回線は確保できた。

その後も、V-Portの電源がショートするなどの致命的トラブルに遭ったが、懸命に克服し、中継体制が整ったのは、当日3月9日の夜明け間近だった…。

天候の回復を祈る

日食まで
あと
3時間

そして、いよいよ皆既日食当日。2時間ほどの仮眠の後、朝6時に起床し、8時49分の皆既日食に向けて準備を続けた。ところが、また暗い窓の外は大雪。天気だけはどうにもならない。無我夢中だった2人の気分が一気にトーンダウンしてしまった。とにかく、日食の間だけでも、雲間から太陽が覗くことを祈った。

ホテル近くの雪原に車を移動し、機材を設置。ズームレンズにCCDカメラを接続したものを三脚に取り付けて車外に固定、そこからケーブルをのばして車中のパソコンにV-Portを経由して画像を取り込み、これを携帯電話で日本のプロバイダーにつなぎ、LIVE ECLIPSE 97のホームページに静止画を送る予定だった。電源はすべて、車のシガーライターからDC-ACインバーターを使って取った。



ケーブル端子が破損! 携帯電話反応せず

日食まで
あと
30分

トラブル発生。通信ソフトのダイヤルに携帯電話が反応しない。カードからケーブルを抜いてみると、端子が欠け、細い針金のような配線がむき出しになり、折れ曲がってしまっていた。もう日食まで30分もない。半分あきらめながらも、配線を真っ直ぐにし、慎重

にカードに差し込んだ。ドキドキしながら再び通信ソフトでダイヤルしてみると、ちゃんと携帯電話が反応し、どうにかプロバイダーにつながった。どん底に落ち込んでいた2人は、再び奮起した。こうして皆既日食に向け、画像送信を開始することができたのだ。

データ送信なるも天候回復が…

日食
開始

数々の情報端末との格闘の末に中継が始まったが、雪は止んでも空は曇ったまま。天気という抵抗しようのない敵を前にして、真っ白いモンゴルの雪原にボツリと存在している自分たちの卑小さを感じた。しかし、日食間際になって、やっと雲間から欠けはじめた太陽がちらちらと姿を現すようになり、肉眼では日食の進行を観察することができるようになった。あわてて太陽をズームレンズに捉えようと、マイナス10度以下の外気にかじかんだ手で必死になって調整したが、とぎれとぎれに薄い雲を通してしか現れない太陽にピントを合わせることはできなかった。結局、モンゴルの僻地からの画像アップロードには成功したが、残念ながら肝心の皆既日食静止画像を送ることはできなかった。

わざわざ皆既日食中継のために、遙かモンゴルまでやってきたのにと憎んでもしかたがない天空の雲を仰ぎながら、悔しさは尽きなかった。同時に、まだまだインターネット中継は一筋縄ではいかないことを実感したのだった。



① LIVE ECLIPSE 97

モンゴル及びシベリアのシルカから皆既日食を、日本各地からは部分日食をインターネットで中継したイベント。シベリアでは、インマルサットBという衛星携帯電話を使い、NECが開発したNVATというLIVE中継システムを利用して、動画のリアルタイム中継に成功した。日食当日の3月9日のホームページへのヒット件数は170万を超えた。

URL <http://www.solar-eclipse.org/>



② GSM 携帯電話

GSM携帯電話とはGlobal System for Mobile Communicationの略称で、ヨーロッパ各国で共用できるように開発された、日本とは規格の違う携帯電話。今では、世界各国で採用されていて、ローミングもされており、もちろん日本にも通話できる。



炎天下で張り込む報道陣。

解決が長引くペルーの日本大使公邸人質事件。
 幽閉されている人質やその家族の苦労には及ばないが、
 日本からの報道陣も相当な苦労を強いられている。
 そんな中、モバイル機器をフルに活用して
 機動力の高い取材活動が続けているメディアがある。
 新聞やテレビなど大メディアとは一味違う切り口で記事を送り続けている
 若手週刊誌記者たちの実戦モバイル術を聞く。

Special Report

取材・文／喜多充成
 写真提供／小学館『週刊ポスト』

事件の現場編

通信コスト、取材コストが激減

毎日発行される新聞や生中継ができるテレビと同じ情報を伝えている週刊誌は存在する価値がない。なぜなら記事は1週間後、つまりその情報が「ニュース」ではなくなってしまってから人々の目に触れるからだ。

したがって週刊誌の記者にとって、他メディアを上回るフットワークと突っ込みが必須の能力となってくる。

『週刊ポスト』の編集部がリマに交代で送り込んでいる若手記者たちは、デジタルカメラとノートパソコンを武器に取材活動が続けている。

「私の最初のリマ滞在では、国際電話で日本のプロバイダーにアクセスしました。が、かかった電話代が3週間で30万円あまり」（田崎健太記者）

取材に時間を割くため、コストはかかっても手間のかからない方法を選んでこ



うなったわけだが、交代にリマ入りした記者は、べらぼうなコストダウンの方法を見いだす。街中で見かけたインターネットカフェに飛び込んで、信頼できるプロバイダーを紹介してもらい、ノートパソコンを持参してそのオフィスに出向いたのだ。

「1か月分13ドルをその場で現金で支払い、30分ほどで設定をしてもらいました。現地のスペイン語の通訳は決してコンピュータには明るくなかったのですが、インターネットプロバイダーだから英語が通じるので助かった」（三井直也記者）
 「二度目のリマ取材では、情報源とともにプロバイダーの設定ファイルを引き継ぎました。ペルーのインターネットプロバイダーはまた黎明期なのか、会員数も少なくつながらなかったことは皆無。快適な通信環境が得られました」（田崎記者）

情報は送れてこそ情報である。この契約で通信コストは激減し、送られてくる写真の枚数は急増する。安定した電送手段を手に入れたことで、より多くの時間とエネルギーとコストを取材のために割けるようになったのである。

フジモリ大統領の直撃取材に成功！

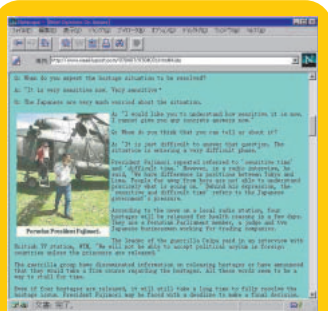
「取材に行った地元の雑誌の編集部でデジタルカメラを見せたら、逆に取材を受け『こんな軽量なシステムで取材し、日本に送れる。これはジャーナリズムの革命だ』と話しました。決しておかげさではなく現場での私の実感なんです」（田崎記者）

公邸前に張り付かざるを得ず、長期戦で取材費が苦しくなっている他のメディアを尻目に、この後交代でリマ入りした同誌の鈴木健幸記者は日本のメディアとして唯一、フジモリ大統領のヘリ同乗直撃取材に成功した。

このスクープを生んだのは、モバイル機器で武装した彼らのフットワークの軽さと粘り強い交渉力であったことは間違いない。

緊急時に備えて特殊装甲車が待機。デジタルカメラはソニーサイバースhots、パソコンは各自のDOS/V機あるいはマッキントッシュで記事と写真を電送した。

公邸前で警備に当たる地元の武装警官。

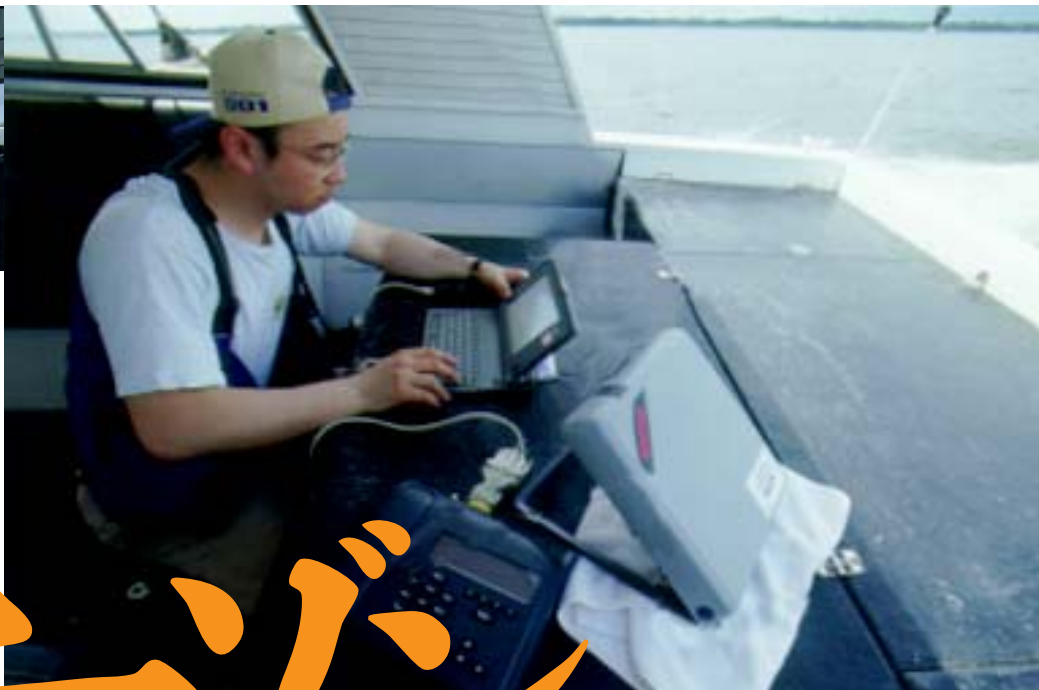
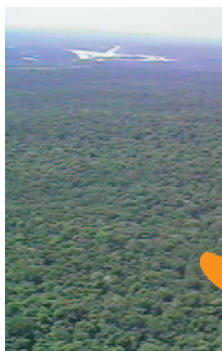


フジモリ大統領への肉薄インタビューを伝える同誌のホームページ。主要記事を毎週発売日に英文で公開している。

URL <http://www.weeklypost.com>



撮影／峯岸雅昭（小学館）



アマゾン 大密林編

飛行時間 30 時間、
機内食 6 回…

海外からモバイル通信を試みると、道具や知識やお金はもちろん重要だが、それらすべてに先立つのが「何が何でもつなぐ」「できるまでやる」という強い意志である、という根性論で私は長年やってきた。ミュンヘンではカッターナイフとドライバーで電話コネクタを工作し、上海ではホテルの壁に指を突っ込んで電話線を引っ張り出し、そうやってなんとか日本とのコネクティビティを確保してきた。その経験の中でもとりわけ「日本が違かった」のがアマゾンである。飛行機で30時間、機内食を6回連続食べなければならない物理的距離だけでなく、電話回線の状況が泣けるほど悪かったのである。ブラジルには国内電話料金無料の国際パケット通信網の入り口が2つあ

り、ニフティサーブにつなぎかければ1分40～70円程度の国際回線料金のみと安い。したがってこれがコスト的には最善の選択となるのだが、つながらない。つながったと思っても、切れる。ファイルの転送中でもかまわず切れる。モデムのネゴシエーションを幻聴のように聞きながら、空が白み根性が燃え尽きそうになることもしばしばだったのである。

アマゾンは近い！

が、今年は違った。昨年の10回に1回つながればいいほうだったのが、今年はつながらないのは数えるほど。回線品質も良く、パソコン内蔵の14.4Kbpsモデムが、フォールダウンしても12Kbps以下にはならない。原稿送りにはずまく困らず、300KB程度の画像ファイルならストレスなく送信できた（写真のいくつかは編集部あてに送ったもの）。気持ちの上ではアマゾンと日本はすぐ隣に近づいたのである。

が、それ以上に強い味方が山根親分手配のインマルサット衛星電話、ミニM（ページ左下参照）と呼ばれる最新タイプの「携帯電話」である。サブノート並みの大きさで重量の電池駆動できる電話機を、端末とシリアルケーブルで接続。衛星からの電波の強さを示すバーグラフを見ながらアンテナの向きを調整し、あとはモデム同様にATコマンドをぶち込

む。慣れれば1分で、どんな僻地からでも通信線が確保できる。衛星～電話機間は5.6Kbpsでデジタル無線通信を行っているが、データ通信速度は実効2.4Kbps。これはエラー訂正符号を多く使って確実にデータを送るための仕様だ。実際、テキストデータだけなら2.4Kbpsで十分。アマゾン河を航行するモーターボートの上から真東45度の高さにある衛星にアンテナを向け、インターネットマガジン編集部へ入稿最終段階での原稿の加筆修正の電子メールを送ることに成功した（この直後に船が漂流し、緊急連絡手段としても役立ったというおまけもついた）。

●
今世紀末にかけ、通常の携帯電話と同じほどの大きさの衛星電話システムがビジネスとして動き始めてきた。僻地での通信線確保の苦労ができるのも、残り少ない20世紀のうちだけかもしれない。衛星電話のパワーに触れてそう思った。

喜多 充成

(kita@netcom.com)
ジャーナリスト。山根一真親分に随行し、十数か国でモバイル修行を積む。愛機のノートワープロWV-S200の3台目が壊れ、使い物になる機器を現在探している。妻と1児。O型。



これがモバイルの最終兵器
インマルサットミニMだ

4つの静止衛星によって地球のほぼ全域をカバーするKDDの通信システム。送受信システムの設備はさまざまあるが、一番小さいミニMはアタッシュケース程度の大きさだ。これで、アマゾンだろうが砂漠だろうが通信できる。



インマルサットの関連情報

URL <http://www.kdd.co.jp/service/inmar/index.html>

これは重宝! これは便利の

モバイルグッズカタログ

極めれば極めるほど深いモバイルコンピューティング。便利に使うためのグッズだってたくさんある。ちょっとした小物でぐっと便利にノートパソコンを使えるようになるのだ。ここでは編集部が集めたナイスなアイテムを紹介しよう。



これが最強チューンナップのノートパソコンだ!

数あるモバイルグッズをノートパソコンにくっつけて、チューンナップしたのがこのマシンだ。本格的なモバイルマンを目指すなら、自分の愛機はこのくらいにしたいものだ。

ああ! 手がすべって地面に落下...を防止する
グリップ・イット・ストリップス
販売価格 1400円 (購入店: T・ZONE ミナミ)
手を滑らせて落下! 画面が割れた...なんて事故を防ぐためにもこのすべりどめのシールを貼ろう。このシールが手にフィットして落下を防いでくれる。

キーボードの周りを照らしてくれる
ノート用ライト
販売価格 1380円 (購入店: ラオックス・ザ・コンピュータ館)
周りが寝静まる夜間飛行のときや夜のタクシーで仕事をしたい人に。キーボードだけを照らすので迷惑をかけずに仕事ができる。バッテリーを消費するのが難点。

いつでもどこでもステレオサウンドが楽しめる
アクティブスピーカーシステム
販売価格 5980円
(購入店: ビックパソコン館)
ノートパソコンだっていい音で聴きたいものだ。あなたのパソコンのスピーカーアウトがステレオならば画面の両脇にこのスピーカーを装備。いつもリアルオーディオがグッとくる音になるぞ。



ISDN 公衆電話を使うならコレ!
伸縮自在のモジュラーケーブル
のびのび君 WEB-033N
販売価格 1580円 (購入店: アイ・ツー モバイル専科)
ISDN 公衆電話にノートパソコンをつなぐときに困るのがジャックに差し込む電話線だ。これなら、伸ばしても自動的に戻るのだから超便利なのだ。

マウスの代りに超小型のトラックボールを使う
ミニトラックボールPC
販売価格 4980円 (購入店: アイ・ツー モバイル専科)
付属のポインティングデバイスがどうしても使いにくいならこれを試してみよう! 小さなトラックボールでストレスなくマウスを動かせるのだ。

どうしてもプリントアウトしたいならこれを持ち歩こう
PENTAX MINI PRINTER
販売価格 IrDA ユニットとのセットで 3万 9800円 (購入店: アイ・ツー モバイル専科)
超小型のプリンター。重さも 390 グラムと非常に軽く持ち運びだってラクラクだ。電池で駆動するので、場所も選ばないというのがうれしい。

●PCカードが増えてきたら、このケースに収納しよう

アタッシュケース型PCカードケース

購入価格2800円
(購入店: アイ・ツー モバイル専科)
名刺入れではない。PCカードもいろんな種類を持つと、しましう場所に苦労する。ケースにまとめておけば、靴の中で行方不明なんてことがなくなるぞ。

●大事なノートパソコンを水や湿気から守る

WATERPROOF BAG SET OF 3

購入価格1600円
(購入店: L.L.Bean 池袋)
マジックテープで密閉できるビニール製の袋。ノートパソコンを入れておけば、衝撃から守ってくれるし防水効果もある。小さいバッグにはPCカードなども入れられる。全部で3サイズ入っている。

●旅先でモデムが安全に使えるかどうかをチェックする

モデムチェッカー

購入価格3000円
(購入店: アイ・ツー モバイル専科)
特に海外のホテルから通信する場合は、電圧や極性の違いでモデムを壊す可能性がある。これをモジュラージャックに挿して青信号が出れば安心だ。

●もしかしら携帯電話の感度が上がるかも?

PORTABLE CELLULAR PHONE ANTENNA

購入価格970円 (購入店: Sofmap1号店 Chicago Windows 専門館)
窓ぎわなどに貼り付ければ、携帯電話などの受信感度がアップするらしい。編集部で試してみたが、気のせいかもしれない。気分の問題で付けてみてほしいかも。

●邪魔なコードはすっきり収納しよう

DC延長コード

購入価格980円 (購入店: T・ZONE ミナミ)
a 靴の中にコードをぐちゃぐちゃに入れたら、取り出しにくいしみっともない。この延長コードなら、ひっぱたり巻き取ったりできるのでラクラク収納できる。

●どんな電話機もかかってこいモバイルの伝統的マシン

音響カブラ

購入価格1万4800円
(購入店: アイ・ツー モバイル専科)
受話器に直接くっつけて音声信号により通信データを送受信するのがこのカブラーというモデムの一種。モジュラー端子が接続できないタイプの電話機で通信を行わなくてはならないときに使う極地モバイル系のアイテムだ。

●車で移動中もバッテリーの充電ができる

シガーライターアダプター

販売価格9800円
(購入店: T・ZONE ミナミ)
車のシガーライタープラグに差し込めば電源が確保できるというもの。タクシーに乗ったときに電気がもらえるかもしれないぞ。

●備えあれば憂いなし! 落雷があっても安心

雷ガード

購入価格220円
(購入店: T・ZONE ミナミ)
落雷のショックからノートパソコンなどを守ってくれる。落雷の多いテキサスや夏の栃木県に出張するときには必携かも。備えあれば憂いなしということだ。

●車の中でもパソコンが使えるぞ!

モバイルスナックテーブル

購入価格1万9800円
(購入店: アイ・ツー モバイル専科)
本来は車用のカップホルダーなのだが、面積が広いのでノートパソコンを置くのにピッタリ! 車の中で007のようにモバイルするにはこれを車に装備すればバッチリ。

撮影協力店 & 問い合わせ先
アイ・ツー モバイル専科: 03-3254-1213
ビックパソコン館: 03-3226-1111
東急ハンズ渋谷店: 03-5489-5111
Sofmap1号館
Chicago Windows 専門館: 03-3253-9190
T・ZONE ミナミ: 03-3257-2770

ワンランク上の モバイルバッグカタログ

モバイルするならノートパソコン選びの次に重要なのが鞆選びだろう。
いつも使うものだから、いいものを選びたい。
ここでは、長くつきあえるモバイル用バッグをセレクトしてみた。



①書類だってたくさん入る。透明になっているので、何が入っているか見やすくなっている。



②細かい小物がしっかり整理できる透明のビニール袋がたくさん付いている。マジックテープで好きなところに付けられるのがグッドだ。

③ノートパソコンを入れる部分は、鉄板にウレタン加工をほどこした保護板が入っているのでパソコンを衝撃からしっかりと守ってくれる。側面もしっかりと強化されている。



山根一眞氏ならではのノウハウぎっしりの究極の鞆



④
モバイルの達人である山根一眞氏が、そのノウハウと思想をふんだんに盛り込んでできたのがこのデジタル情報鞆だ。ノートパソコン、携帯電話、デジカメはもちろんのこと、モジュラーケーブルや工具に歯ブラシ、シャンプーなども入る究極の鞆だ。この鞆を使いこなすことが、最強のモバイルマンへの道かもしれない。

デジタル情報鞆

サイズ：38×28×17cm
定価3万9000円（取扱店：伊勢丹新宿店）



GHURUKA

① ノートパソコンや携帯電話を優しくつつんでくれる仕切りが付いている。さまざまな小物を収納するためのアイデアがなんとも心こいのだ。



こだわって手に入れたノートパソコンは、一級の鞆に入れて運びたい

値段だけを見て驚かないで欲しい。価格に見合うだけの品格と機能性を備えたノートパソコン用バッグなのだ。材質はもちろん本革。しかし、それほど重くはない。使えば使うほど味が出る。チェック柄の生地で作った中身は、ノートパソコンや携帯電話がぴったり入っている。ケーブルやバッテリーなどの小物だってびっちり収納できる。ノートパソコンを買い換えても、この鞆は一生使い続けられることだろう。

サイズ：29×36×14cm 定価16万円（取扱店：新宿高島屋2F 靴旅行用品売場）

Sportsman's Computer Brief case

③ ノートパソコン以外のものもかなりたくさん入る。出し入れもしやすく、使いやすい。



中には小物入れのポケットがいっぱい

アウトドアグッズでおなじみのL.L.BeanのノートPC用バッグ。軽くて持ちやすいのがうれしい。汚れが付きにくく、手入れの手間が少ないコーデュロイナイロンでできている。グリーン、ネイビー、カーキ、ダークブラウン、黒の5色がある。

サイズ：30×44×14cm 定価1万4000円（取扱店：L.L.Bean 池袋）

arrstone volaju

③ ものをごちゃごちゃと入れても、中が見やすいので取り出しやすい。



開きやすく取り出しやすい構造がグッド

前ポケットが前面に開き、真ん中の部分も大きく開くようになっているので物が取り出しやすい。周辺機器をいろいろ持つ人にはおすすだ。ノートパソコンを入れるところには、底にもウレタンが仕込まれている。

サイズ：41×31×13cm 定価1万8500円（取扱店：新宿高島屋2F 靴旅行用品売場）

TIPS

③ 書類はもちろんフロッピーなどの小物もたっぷり入る。



縁が頑丈にできているから形崩れがしにくい

衝撃吸収ウレタンを両面に内蔵することでノートパソコンを守ってくれる。フロッピーディスクやACアダプターはもちろん、書類などを収納するスペースもたっぷりある。防水加工もされているので、雨の日でも安心。

サイズ：30×41×10cm 定価2万7000円（取扱店：新宿高島屋2F 靴旅行用品売場）

ZERO Haliburton COMPUTER CASES

① 中の仕切りは自由に動かせるので、ノートパソコンの大きさに合わせられる。



とにかく頑丈！
大事なパソコンを入れるならこれ

その頑丈さでは随一のバッグだ。ちょっとやさそとの衝撃ではびくともしないのがこの通称ゼロハリの鞆だ。鞆の中にある仕切りが自由に動かせるのでノートパソコンの大きさに合わせられる。ちょっと重いのが、肩にかけられるようになっている。持っているだけでステータスになるビジネス鞆だ。

サイズ：32.5×45×8.6cm 定価4万4000円（取扱店：新宿高島屋2F 靴旅行用品売場）

ノートPCバッグ

① これくらい厚手の板なので、多少の衝撃を受けても心配はいらない。



リュックにもなるのが便利！

アウトドアグッズで有名なエディバウアーのノートパソコン用バッグだけに、軽くて持ちやすい。中は、パソコンを衝撃から守る厚めの仕切り板が入っているのが安心だ。携帯電話を入れるポケットもある。グリーン、ネイビー、黒の3色がある。サイズ：40×30×12.7cm 定価1万800円（取扱店：エディバウアー パルコパート2店）

高島屋オリジナルPCバッグ

① ちょっとした外出や会社内の移動にはこのミニバッグが重宝だ。



中に入っている小さなバッグがちょっとした外出に超便利

高島屋オリジナルのノートパソコン用鞆。最大の特徴は、小さな鞆が付属すること。これにパソコンを入れ、社内や近場の移動だったらこれだけでOKだ。外出するときはそのまま鞆に入れて移動できるというわけだ。ノートパソコン用の鞆には見えないデザインだ。

サイズ：32×41×6cm 定価2万7000円（取扱店：新宿高島屋2F 靴旅行用品売場）

ARTISAN & ARTIST（リブレット用バッグ）

① なんともいい大きさで入ってくれるのがうれしい。このまま大きな鞆に入ればOKだ。



リブレットがすっぽり入るミニバッグだ

リブレットを入れるのにはぴったりな大きさのバッグ。中は、仕切りが2つあって片方には本体、片方にはメモカードなどを入れるのにぴったりだ。リブレットユーザーなら、専用セカンドバッグとして持っておきたい。

サイズ：18×28×5cm 定価6500円（取扱店：新宿高島屋2F 靴旅行用品売場）

撮影協力店 & 問い合わせ先

伊勢丹新宿店 (03-3352-1111)、エディバウアー パルコパート2店 (03-3477-0271)、新宿高島屋2F 靴旅行用品売場 (03-5361-1111)、L.L.Bean 池袋 (03-3983-7744)

[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレス R&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp